

平成30年（2018年）知事年頭所感

大阪府知事 松井 一郎



新年あけましておめでとうございます。

私はこれまで、「成長と安全・安心のよき循環」により、府民の皆様が生活のなかで豊かさを実感できる大阪の実現に取り組んできました。その結果、来阪

外国人旅行者数は大幅に増加し、雇用状況も改善するなど、大阪経済はゆるやかな回復傾向を示しています。

今年は、これまで積み上げてきた成果を土台に、府民の皆様や市町村、経済界とともに、さらなる成長の芽を大きく育てていく一年としたいと考えています。

自らの有するポテンシャルを見定め、さらに磨きをかけていくことで、「副首都・大阪」をめざし、東西二極の一極として日本の成長をけん引し、誰もが安全・安心に暮らせるまちにしていきたいです。

これを支える制度面の取り組みが、新たな大都市制度の実現です。住民の皆様のご意見を踏まえ、議会と丁寧な議論を重ね、今年秋に住民投票を実施したいと考えています。

成長の大きなインパクトとなる2025年の国際博覧会のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。子どもからお年寄りまで、だれもが生き生きと暮らせる健康で豊かな社会。そのような社会を大阪・関西から実現し、世界に広めていく。それが、私たちがめざす2025年の万博の姿です。

世界から様々な「知」を集め、発信することにより、府民はもちろん、世界の人々を笑顔にしたいと考えています。

今年秋には、いよいよ開催地が決定されます。フランス、ロシア、アゼルバイジャン。いずれも強敵ですが、皆様と心をついに、オールジャパンで誘致を勝ち取りたいと思います。応援よろしくをお願いします。

あわせて、好調なインバウンドをさらに加速するのが、統合型リゾート（IR）です。今後、IR実施法案の成立を見据え、他の自治体に先駆け、大阪の目指すIRの姿を示します。ギャンブル

等依存症などの懸念事項への対策も、着実に実行してまいります。

こうした取り組みを通じ、エンターテインメントやMICE機能を備え、ビジネス客からファミリー層まで安心して楽しめる、「世界最高水準の成長型IR」を核とした国際観光拠点を、大阪・夢洲で実現させたいと考えています。

成長の基盤となる都市インフラの充実にも力を注ぎます。

魅力あふれる都市空間の創造に向け、大阪の顔となる「うめきた2期」の整備を進めるとともに、関空アクセスを強化するため、長年懸案だった「なにわ筋線」をはじめ、リニア新幹線や北陸新幹線など、広域鉄道ネットワークの整備も着実に進めます。

万博の掲げる「いのち輝く未来、だれもが活躍できる社会」をめざし、大阪・関西の強みであるライフサイエンス関連産業・研究機関の集積を生かしたイノベーションの創出に取り組むとともに、健康寿命の延伸や子育て環境の整備、多様な人材育成を進めます。

今年の春には、重粒子線がん治療施設が開設します。近接する大阪国際がんセンターと連携し、豊かな暮らしの基礎となる質の高い医療を提供します。

また、市町村と連携しながら保育所等の待機児童の解消や、子どもの貧困対策など、子育て環境の整備に全力で取り組みます。

次の時代の大阪を担う子どもたちの教育については、学力・体力の向上や、英語教育の充実、課題を抱えた児童・生徒の支援など、さらなる教育力の向上に努めます。

一人ひとりが活躍できる社会の基盤となるのが、災害対策です。

自然災害から府民の皆様暮らしを守るため、「人命を守る」ことを最優先に、南海トラフ巨大地震への備えや豪雨対策など、様々な危機事象に確実・迅速に対応できるよう、着実に対策を進めます。

今年も府庁が一丸となり、府民の皆様のための施策を力強く推進してまいります。一層のご理解、ご協力をお願いいたしますとともに、本年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますようお祈りします。